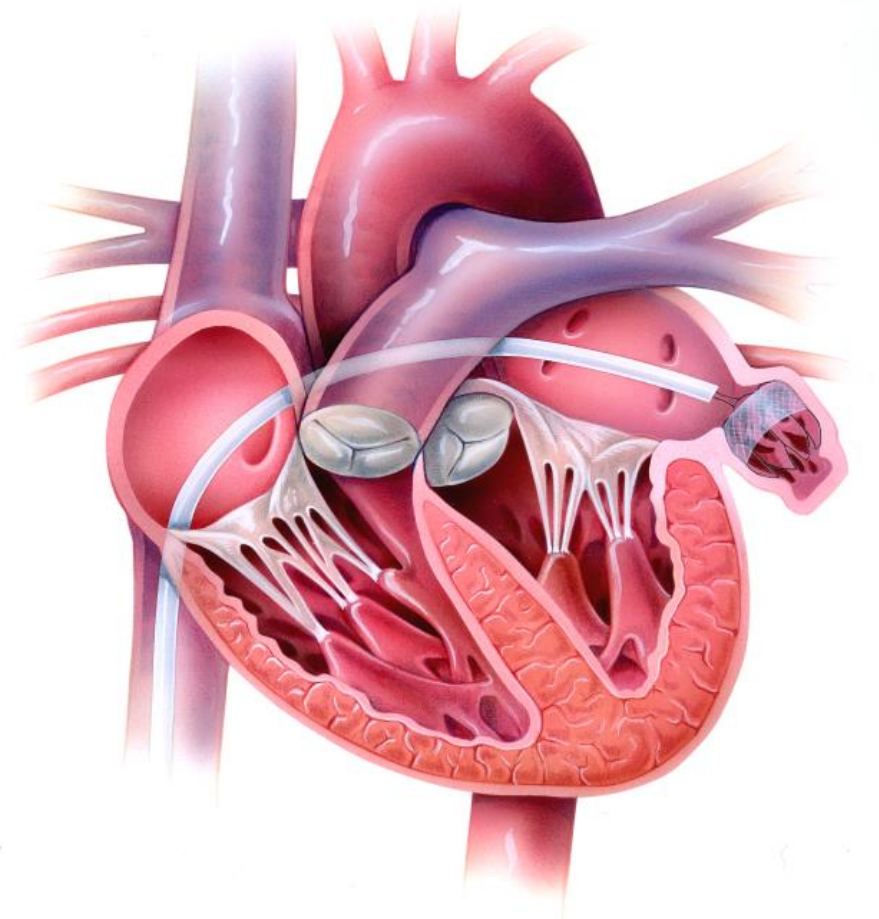


経皮的左心耳閉鎖術開始いたしました！！

経皮的左心耳閉鎖術 (WATCHMAN) は、出血・塞栓リスクの高い、非弁膜症性心房細動に対して行うカテーテル治療です。今後の出血イベント・脳梗塞等の塞栓イベントを予防するための治療です。これまでの開胸手術と比べて低侵襲で、患者さんにやさしい治療です。



心房細動による脳梗塞

心房細動の多くが、左心耳内に血栓を生じ、脳血管に飛んでしまうと脳梗塞を発症します。これまでの予防法として抗凝固薬を生涯服用することが推奨されてきましたが、消化管出血や脳出血など出血リスクのために服用できない患者さんや実際に出血を繰り返してしまう患者さんに、より有効で安全な治療法が待ち望まれていました。

WATCHMAN (ウォッチマン)

心房細動により血栓のできる場所の約9割が左心耳と言われ、WATCHMANは開心術をすることなく、鼠径部の静脈からカテーテルを通して心臓に挿入し、左心耳を閉鎖するデバイスです。左心耳を塞ぐように設計されており、術後はWATCHMANを覆うように内皮化が進み、左心耳が永久的に閉鎖されることによって脳梗塞のリスクを抗凝固療法並みに低減させながら、抗凝固薬の服用を中止することができるようになります。